



23 土器をスケッチしてみよう

1つの資料をじっくり観察して記録し、ほかの資料とくらべてみよう。

1. 縄文時代後期の土器を見つけて、次のページにスケッチしよう。考古部門展示室の「時代をはかるものさし」というコーナーにあります。



♪スケッチの手順♪

- 最初に全体の輪郭をかこう。
- 次に文様をかこう。形や大きさ、間隔などに注意しよう。
- 仕上げに色や影をつけてみよう。
- スケッチで表現できなかった部分や気づいたことはメモをかこう。

2. 縄文時代後期の形には、共通する特徴があります。それは何でしょうか。
 (ヒント) 底の形をよく見てみよう

答え

3. 縄文時代後期の頃に宮古・八重山諸島で使われた土器は何でしょうか。□の中に入る文字を書こう。またその土器とスケッチした土器を比べて違いを書こう。

	□ □ □ 式土器	スケッチした土器
厚さ	ぶ厚い	
高さ		
文様の多さ		

沖縄の考古学年表

1100 0 紀元前 1000 1200 2500 3500 5000 10000 13000								西暦	
グスク時代	弥生～平安 並行時代	縄文時代						旧石器時代	沖縄諸島
		晩期	後期	中期	前期	早期	草創期		
歴(原)史 時代	先史時代								宮古 八重山諸島
	無土器期		下田原期						

琉球 日本
沖縄

旧石器時代

縄文時代

弥生時代

並行時代

グスク時代

三山時代

室町

戦国

琉球王国時代

江戸

明治

大正

昭和

平成

新生沖縄県

アメリカ統治時代

土器をスケッチしてみよう！

土器は縄文時代に作られ始めた^{ようき}容器で、食べ物を煮炊き^{にた}したり、入れておくためのものです。土器は時代や地域によって形や文様が違うので、ひとかけらの土器の破片からでも、いつ、どこで作られたかを知ることができます。